

内閣府食品安全委員会

「平成22年度運営計画(案)に対する意見募集」への意見書(平成22年3月26日)

内閣府食品安全委員会の運営計画 第6 食品の安全性確保に関する情報の収集、整理及び活用、2. 国際協調の推進 に関して賛意を表したい。加えて、次の意見を参考に積極的な推進を要望するものである。

食品の安全性・健康影響評価は科学をベースに行われるべきことは言うまでもないことである。グローバル化している時代に、CODEX、EFSA、OECD、FDA の政府機関、国際機関との情報交換や連携は極めて重要である。

食品に対する安全性の捉え方は国・地域、その消費者と供給者(生産者・産業界)によっても異なる。しかしながら、その意見・情報交換や連携によってグローバルなハーモナイゼーションは進められると考えられる。

食品の安全性基準等は科学技術の進歩に従って、適宜、グローバルなレベルで透明性を持った議論が必要と思われる。また、グローバルなハーモナイゼーションができていないことによって、アクセスの機会が失われないようにすることは国際的にも重要と思われる。

- 1)これらの議論機会や情報交換の機会はプログラム化して定期的に実施していただきたい。
- 2)これらの議論機会や情報交換の機会に、必要に応じて国民の声を反映できるように工夫をお願いしたい。
消費者、生産者・産業界等の代表者が出席できる、又は議論テーマ毎に意見募集等を行うも一つの案である。
- 3)これらの議論や情報交換の結果を国民にわかりやすく、コミュニケーションの場を活用して提供いただきたい。

以上